

III パッケージソフト（メール処理方式）の原則提供終了＜2＞

平成27年4月16日

輸出入・港湾関連情報処理センター株式会社



1. 現行（第5次）NACCSにおけるパッケージソフトの現状

現行（第5次）NACCSにおいては、以下の3種類の処理方式のパッケージソフトを利用者に提供している。

処理方式	利用ネットワーク	利用プロトコル	特徴
インタラクティブ処理方式	NACCSネットワーク (閉域網)	HTTP	処理要求電文を1電文送信するごとに、処理結果電文を受信する方式。原則として常時接続タイプの回線が必要となる。
メール処理方式※	NACCSネットワーク (閉域網)	SMTP／POP3	複数の処理要求電文を一括して送信し、一定時間後、複数の処理結果電文を一括して受信する方式。一括送信／一括受信を行うことから、必ずしも常時接続タイプの回線を必要としない。
netNACCS処理方式	インターネット	HTTPS	インタラクティブ処理方式と同様の特徴を持ち、インターネットを介した接続を可能とする方式。また、インターネット上においても安全な通信を行うため、クライアントデジタル証明書を使用するとともに、通信の暗号化を行っている。

※ NACCSと直接接続する方法の他、利用者のゲートウェイサーバ配下にメール処理方式のパッケージソフトをインストールしたPCを設置し、ゲートウェイサーバを介してNACCSと接続する方法もある。

2. パッケージソフト（メール処理方式）の原則提供終了について

以下の2つの理由により、次期（第6次）NACCSにおいては、ゲートウェイ配下利用の場合を除き、パッケージソフト（メール処理方式）の提供を原則終了する。

パッケージソフト（メール処理方式）利用者はnetNACCS処理方式への切替をお願いしたい。

1. パッケージソフト（メール処理方式）の主要な役割は終了している

- 常時接続タイプの回線を必要としないため、比較的少ない処理件数であれば、通信料金を低く抑えられることがメリットであり、常時接続タイプの回線コストが高額であった時代には本処理方式のメリットは大きかった。一方、一括送信後、一定時間（現行（第5次）NACCSでは3分）が経過した後でないと一括受信ができないため、即時性に欠けるというデメリットがある。
- 現在では低廉で高速なインターネット回線が利用可能（後述）であるため、パッケージソフトの一方式としてのメール処理方式の存在意義が薄れてきており、パッケージソフトのメール処理方式の役割は終えたと考えられる。

2. パッケージソフトの処理方式の集約により将来的にシステムのスリム化を図りたい

- 現在パッケージソフトを利用した接続形態として3種類の方式を提供しており、それぞれの提供のために開発コストや事務処理コストを必要としている。
- パッケージソフトの処理方式を集約していくことにより、センターとしてシステムのスリム化（将来的にはコストの削減）を図っていきたい。

3. パッケージソフトのメール処理方式とnetNACCS処理方式のコスト比較

パッケージソフトのメール処理方式とnetNACCS処理方式の現行ネットワークにおける通信コストをモデルケースを使用して比較した場合、以下のとおり、netNACCS処理方式の方が低コストとなる。

(円、税抜き※4)

項目	メール処理方式 + NACCSネットワークダイヤルアップ回線		netNACCS処理方式 + インターネット回線※1	
回線速度	上り、下りとも64kbps		上り：最大1Mbps（ベストエフォート） 下り：最大12Mbps（ベストエフォート）	
初期費用	ISDN回線設置初期費※2	2,800円 (契約料、工事費込)	ADSL初期工事費等 (工事費、契約料込)	3,000円
	NACCSネットワーク 加入料	56,000円	クライアントデジタル証 明書	0円
初期費用合計		58,800円		3,000円
月額費用	NACCSルータ使用料	3,700円 (海上の場合)	ADSLモデム料	0円
	ISDN基本料※2	2,650円	ADSL使用料 (プロバイダ料金含む)	3,247円
	ISDN通信料※3	1,800円		
	NACCSダイヤルアップ 従量料金	無制限：1,500円		
月額費用合計		9,650円		3,247円

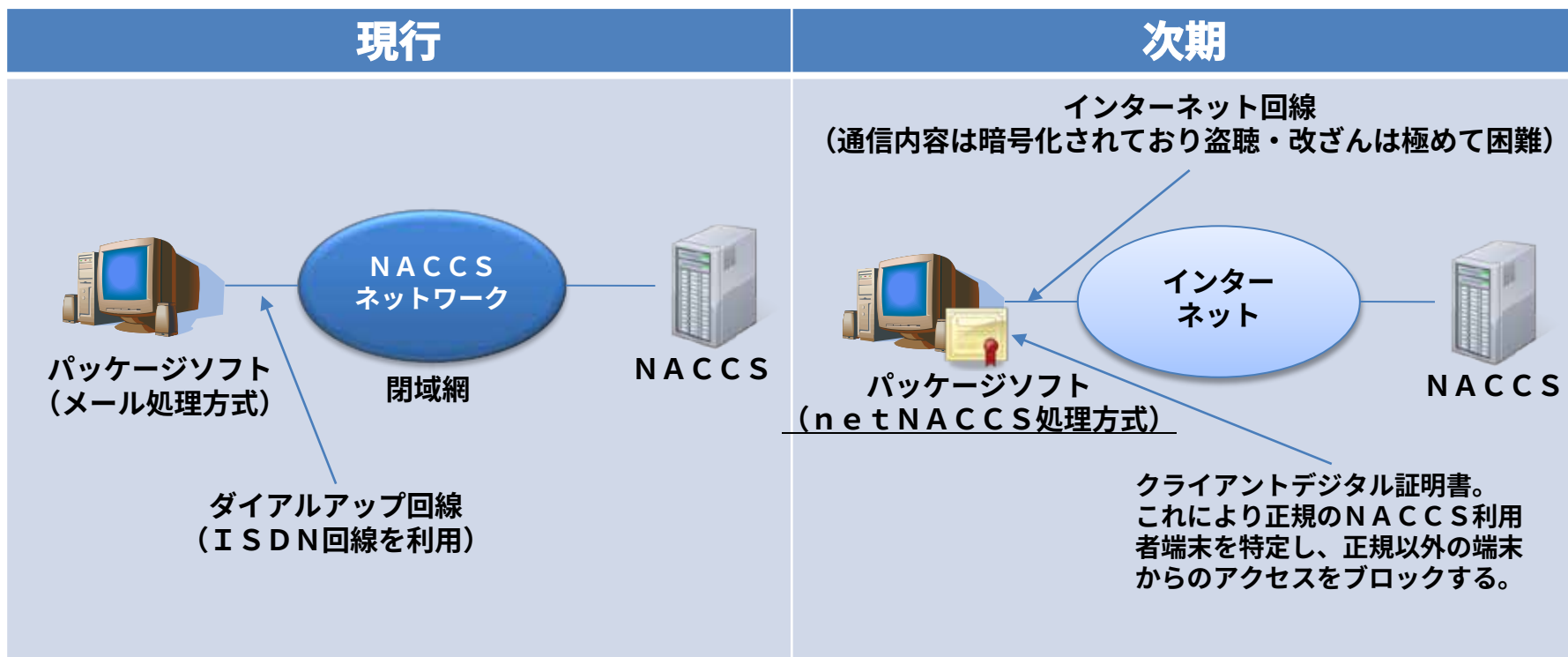
出所：平成26年12月2日現在のOCNホームページ、NTT東日本ホームページの情報をもとにしてNACCSセンターにて作成。

【比較の前提】

- ※1：インターネット回線はOCNの「OCN ADSLセット 12Mスマート タイプ2」を想定。電話回線が必要ないタイプ。
- ※2：ISDN回線としてNTT東日本 INSネット64・ライトを想定。
- ※3：市外通話30円／分（20km～60km）にて、1日30分、月20日間のNACCS利用を想定。
- ※4：上記の比較にはNACCS自体の利用料金は含まれていない。

4. パッケージソフト（メール処理方式）利用者のnetNACCS処理方式への切替について

1. パッケージソフト（メール処理方式）の役割は終了していると考えられるため、ゲートウェイ配下での利用を除き、原則として提供を終了する。
2. パッケージソフト（メール処理方式）利用者はnetNACCS処理方式への切り替えをお願いしたい。利用者においてインターネット回線の設置に係る手間が発生するものの、それを上回るコストメリットはあると考える。
3. netNACCS処理方式に切り替えることにより、インターネットを使用することになるが、netNACCS処理方式ではクライアントデジタル証明書の導入や通信の暗号化といった適切なセキュリティ対策が施されており、セキュリティが低下することはない。
4. ゲートウェイ配下でパッケージソフト（メール処理利用方式）を利用している利用者に対しては、従来通り提供を継続する。



5. パッケージソフト（メール処理方式）の提供を終了する際の課題

パッケージソフト（メール処理方式）の提供終了の際に検討を要する課題について、それぞれ以下の対応を図る。

課題	対応方法
「通関士証票番号登録（U T B）」業務が自社システムに入っておらず、メール処理方式の端末で行っている。パッケージソフト（メール処理方式）提供終了後、通関士証票番号の変更等をどのように行えばよいか。（委員意見）	現行のU T B業務では通関士本人の利用者I D（8桁）とその利用者I Dが対応する処理方式によってしか、通関士証票番号の登録、修正、削除が行えない。このため、第6次N A C C SにおけるU T B業務では、本人以外の通関士の利用者I D及び処理方式からでもU T B業務を実施できるように改善する。
メール処理方式からn e t N A C C Sへの切替えについて、弊社の場合n e t N A C C Sは全て社内L A N経由の接続の為、社内L A Nに不具合が発生した場合n e t N A C C Sの使用ができない。（委員意見）	・社内L A Nの障害に対応するためには、社内L A Nを経由しない形でN A C C Sネットワークの専用線もしくはブロードバンド回線を導入いただき、N A C C Sパッケージソフト（インタラクティブ処理方式）を組み合わせ利用いただく。 ・ゲートウェイ処理方式やS M T P双方向処理方式をご利用の利用者様においては、既に専用線が利用可能であるため、N A C C Sパッケージソフト（インタラクティブ処理方式）を導入いただく。 ※なお、ダイヤルアップ回線とパッケージソフト（メール処理方式）の組み合わせは、ダイヤルアップ回線に使用しているI S D N回線が2 0 2 0年より順次廃止される予定であるため、採用困難。
現行のメール処理方式で受信している電文についてn e t N A C C S経由の場合、受信が端末固定になると都度、出力要請が必要となるのではないかと。また、他の端末から出力要請をする場合、現行の方法だと、論理端末名及び端末アクセスキーを都度設定が必要となる事から負荷が大きい。また、社内L A Nが使用できない場合、電文の出力ができない。（委員意見）	以下の設定を行うことにより、N A C C Sパッケージソフト（メール処理方式）と同様の処理をn e t N A C C Sにおいても可能となり、左記に記載された課題の解決が可能となる。 ①宛先管理設定において、取得したい出力情報（帳票電文）をn e t N A C C Sを利用する論理端末名宛に出力するよう設定しておく。 ②n e t N A C C Sの自動タイマによる帳票取出機能により定期的に自動で帳票電文を取り出すように設定する。 ③②の設定により、定期的に自動で帳票電文がn e t N A C C S端末に出力される。これにより、メール処理方式の動きと同様となるため、当該電文の受信を契機に業務を実施することが可能となる。 なお、他の端末から帳票電文を取り出す場合は、論理端末名及び端末アクセスキーによる取出しを行う。他の端末からの取出しが長期に及ぶ場合はU業務を使用して、出力先の論理端末名を変更する。
メール処理方式の電文受信を契機に業務が動く場合がある為、都度出力要請では対応できない。（委員意見）	